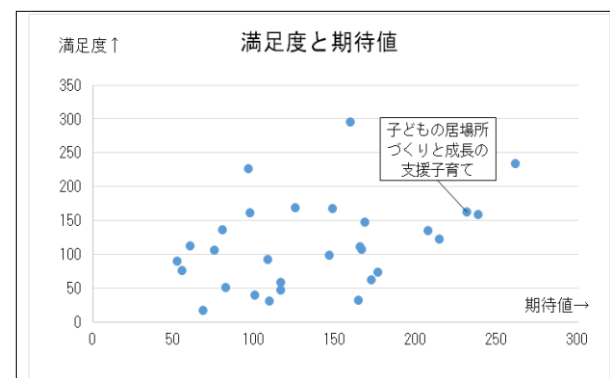


1 施策概要

まちの姿 4	子どもがのびのびと育つまち
説明	<p>核家族化や共働き家庭の増加等、家族形態が多様化している中で、それぞれの考え方や価値観を尊重しつつ、安心して子どもを産み、育てられる環境を整えることが大切です。そのため、切れ目のない子育て支援体制の構築や子育て支援サービスの充実を図るとともに、子育て家庭が孤立しないよう、地域で温かく見守り支えることで、住み続けたいと思ってもらえるような「子どもがのびのびと育つまち」を目指します。</p> <p>また、子どもがそれぞれの個性を伸ばし、自ら進んで考え、判断し、生きる力と豊かな心を育むとともに、支援を必要とする子ども一人ひとりの学びと成長を保障することができるよう、必要な教育環境の整備を進めていきます。さらに、次世代を担う青少年が社会の一員としての自覚と責任を持って社会生活を送ることができるよう、また、地域で活躍できる人材となるよう、心身共に健やかに育つための環境づくり等について、家庭、学校、地域、行政が一体となって推進していきます。</p>

施策	子どもの居場所づくりと成長の支援			
目指す姿	子どもが抱える様々な悩み・問題に対する適切な支援や地域の中での居場所の充実が図られ、地域や社会との関わりを自覚しながら、自分らしく成長しています。			
市民アンケート結果	満足度	満足度順位	期待値	期待値順位
	163	6/30	231	3/30



施策の方向性	放課後の活動場所の充実
概要	<p>学童クラブの施設整備を進めるほか、公立学童保育所については、開所時間の延長等、学童保育のサービス拡充に向け、民間委託も含めた公立学童保育所のあり方を検討していきます。施設整備に当たっては、中長期的な視点から将来的な人口減も考慮した上で行います。</p>
現状と課題	<p>・待機児問題は、保育園のみならず学童クラブにおいても発生しています。学童クラブの需要見込みに対応するため、岩戸児童センター内にある小学生クラブの拡充や、第五小学校放課後クラブ及びKoKoAの移転拡充、北部児童館（こまっこ児童館）内への小学生クラブの新設等を行いました。今後も更なる拡充が求められています。</p>

担当部署	児童育成課
------	-------

2 施策に係る取組内容

No.	事務事業名	担当課	事業概要	成果
1	学童クラブの施設整備の推進	児童育成課	待機児童数の状況を見極めて、計画的に施設整備及び定員数の拡大を推進する。	和泉小学校放課後クラブの定数増や民間活力を活用して、新たな学童クラブを開設した。
2	【参考】 KoKoA実施による放課後の居場所確保	児童育成課	放課後、家庭に帰宅することなく、KoKoAルームや体育館・校庭などで自由に遊ぶことができる居場所の提供	コロナ禍においては休止する期間もあったが、再開後からは年々利用者は増えており、放課後の児童の居場所として有効に機能している。
3	【参考】 プレーパーク事業の実施	児童育成課	西河原公園内において、外遊びの様々な体験を行うことができる事業	毎年、利用者は増えており、乳幼児親子、小学生、中高生と幅広い年代に利用されている。
4	【参考】 児童館事業	児童育成課	児童の健全な遊びを与え、その健康を増進し、または情操を豊かにすることを目的として実施する事業	コロナ禍においては休止や定員制限など規制していたこともあったが、五類移行後は制限を解除したことで、多くの児童に利用されている。
5				
6				
7				
8				
9				
10				

3 指標

No.	指標名	指標の概要	単位	H31	R2	R3	R4	R5	方向性	備考
A	小学生児童数	小学生児童人口の推移	人	3,762	3,857	3,929	4,018	4,148	—	
B	学童クラブ申請児童数	学童クラブへの申請児童数推移	人	768	859	939	1,122	1,167	—	
C	学童クラブ設置数	市内学童クラブの設置数	箇所	13	15	17	17	18	↗	
D	学童クラブ入所者数	学童クラブの受入れ人数	人	664	748	865	949	1,006	↗	
E	学童クラブ待機児童数	学童クラブの待機となっている児童数	人	76	96	13	151	124	↘	
F	【参考】プレーパーク参加人数	プレーパークに参加した人数	人	10,258	10,421	13,822	13,900	14,653	↗	
G	【参考】KoKoA参加人数	KoKoAに参加した人数	人	54,637	15,239	30,375	46,157	58,660	↗	
H	【参考】児童館・児童センターの小学生利用者数	児童館・児童センターを利用した小学生の人数	人	46,813	10,371	16,863	20,082	41,222	↗	
I										
J										

4 施策に係る取組の事業費

単位 (千円)

No.	事務事業名	担当課	H31		R2		R3		R4		R5		備考
			決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	
1	学童保育所維持管理費	児童育成課	46,538	12,973	44,043	13,646	43,259	9,567	43,613	14,282	43,256	17,578	指標C、D、E
2	放課後クラブ	児童育成課	45,956	21,477	60,268	20,653	83,050	36,299	90,068	43,292	96,199	43,125	指標C、D、E
3	こどもクラブ	児童育成課	15,549	5,349	16,219	5,788	15,640	6,863	16,051	6,647	28,788	12,810	指標C、D、E
4	【参考】児童館関係費	児童育成課	176,481	76,088	197,198	95,069	232,301	105,762	235,662	100,501	237,809	116,830	指標H
5	【参考】プレーパーク	児童育成課	7,946	3,974	8,119	4,060	7,953	3,981	7,931	3,966	7,940	3,970	指標F
6	【参考】放課後子ども教室事業 (KoKoA)	児童育成課	22,362	9,610	15,026	6,464	21,278	9,631	23,511	10,419	26,952	13,859	指標G
合計													

※令和6年6月30日現在計数整理中

5 総括

取組の総括

1 総括した成果・課題

学童クラブの施設整備については、待機児対策推進本部における横断的な検討に基づき進めており、平成31年度の13箇所から令和5年度18箇所に増加している。入所者数については、施設整備のほか定員の弾力化も図り平成31年度664人から令和5年度1,006人に増加している。しかしながら、小学生児童数の増加及び学童クラブ申請児童数の増加に追いつかず、待機児童数は平成31年度76人から令和5年度124人に増加している。待機児童については、KoKoAや児童館の自由来館、プレーパークなどを利用いただいている状況であり、特に低学年の学童クラブ需要への対応が課題である。学童クラブの施設整備に当たっては、引き続き待機児対策推進本部において将来的な児童数、学童クラブ需要も踏まえて検討していく。

また、学童クラブは、保護者のニーズが高い実施時間の延長等のサービスの拡充や特別な配慮等を必要とする児童の増加等により、支援員の安定的な配置によるきめ細かな対応が求められており、支援員の安定的な配置による円滑な運営と質の確保、開所時間の延長、多様な事業メニューの提供等によるサービスの拡充とともに、待機児対策としての定員の弾力化に対応するため、運営体制を抜本的に見直し、公設公営で運営している「放課後クラブ」を公設民営による「小学生クラブ」に段階的に移行することで、課題の解決を図る。

2 まちづくりの視点：狛江らしさを活かす（狛江らしさの視点）

児童館の自由来館やKoKoA、プレーパークは、児童が自由に過ごすことができる居場所として児童の健全育成に寄与している。このような場所が身近な場所として複数存在することは、狛江市のコンパクトシティとしての強みであり、狛江市で安心して子育てを行える一助として機能している。

3 まちづくりの視点：お互いを認め支え合い、ともに創る(市民参加と市民協働の視点)

野川えんがわこまちは、子ども・若者が気軽に立ち寄れる地域の居場所として創設されており、子どもたちの放課後の居場所の一つとして機能している。事業の一つとして実施しているKoKoAについては、児童の安全を見守る安全管理員において、地域の有償ボランティアの方々に協力を得て実施している。また、各KoKoAのイベントなどにおいて昔遊びや餅つきなど、地域の方々に参加いただきながら、ご協力をいただくことで児童の育成健全に寄与している。

4 まちづくりの視点：経営的な視点（最少経費・最大効果の確認）

利用者の多様なニーズにこたえるためには、行政によるサービスの提供だけでは限界があり、保育の質の向上や保育時間の延長を実現するために民間活力を活用したサービスの提供を行っている。今後とも、多様なニーズに効果的なサービスの提供を行っていくために、学童クラブの民営化を検討していく。

5 まちづくりの視点：SDGsの視点（SDGsの理念を踏まえた事業成果の確認）

放課後の時間を過ごす学童クラブ・児童館などにおいて、児童が安心して過ごせる居場所として、子どもたちへ遊びや安全管理・生活指導や余暇指導を行うことで、子どもたちの健全育成に寄与している。また、働く保護者が安心して児童を預けることが出来る保育を提供することで、働きやすい環境づくりを促進している。

6 SDGsとの関係性

No.	目標	説明	関係性
1	【貧困】 貧困をなくそう 	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。	
2	【飢餓】 飢餓をゼロに 	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。	
3	【保健】 すべての人に健康と福祉を 	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。	●
4	【教育】 質の高い教育をみんなに 	【教育】すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。	
5	【ジェンダー】 ジェンダー平等を実現しよう 	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。	
6	【水・衛生】 安全な水とトイレを世界中に 	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。	
7	【エネルギー】 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。	
8	【経済成長と雇用】 働きがいも経済成長も 	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。	●
9	【インフラ、産業化、イノベーション】 産業と技術革新の基礎をつくろう 	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。	

No.	目標	説明	関係性
10	【不平等】 人や国の不平等をなくそう 	各国内及び各国間の不平を是正する。	
11	【持続可能な都市】 住み続けられるまちづくりを 	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。	
12	【持続可能な生産と消費】 つくる責任 つかう責任 	持続可能な生産消費形態を確保する。	
13	【気候変動】 気候変動に具体的な対策を 	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。	
14	【海洋資源】 海の豊かさを守ろう 	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。	
15	【陸上資源】 陸の豊かさを守ろう 	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。	
16	【平和】 平和と公正をすべての人に 	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。	
17	【実施手段】 パートナーシップで目標を達成しよう 	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。	

※説明は外務省の日本語訳を参照しています。